

全国農業

NATIONAL
AGRICULTURAL
NEWS

新聞

2021年(令和3年)

10月1日 金曜日
月4回金曜日発行

関

東

大量生産できない幻の逸品 「あけぼの大豆」で町おこし

身延町

【山梨】身延町は2015年に「身延町まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定、特産品「あけぼの大豆」

豆」による町おこしに取り組んでいる。あけぼの大豆は、標高300〜700mの昼夜の寒暖差が大きく、霧が多く発生する曙地区で採取した種子を使い、栽培された大豆のこと。平坦地が少なく、機械化が難しいため大量生産ができず、幻の大豆と呼ばれている。通常の大豆は0・8センチほ

生産力向上のための勉強会



どだが、1・2センチと大きく甘みが強いのが特長。同町では、生産力向上のための

勉強会や種子審査による品質管理などを行うほか、加工品の開発や製造なども行い、あけぼの大豆の専用サイトを開設、販売にも注力している。

同町産業課の担当者は「生産を再開する農家や、移住者もおり、地域農業の担い手が増えている。約150年間、絶えることなく受け継がれてきたあけぼの大豆を通じて、町が元気になってくれれば」と話す。